

公益財団法人庭野平和財団

平成 23 年度（2011 年度）事業計画書

## [事業部門]

### I. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する宗教組織および市民組織を支援し、その活動の質的向上とその活性化を図る。

#### 1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行い、その結果を公表する。

(1) 第2回社会調査「宗教団体の社会貢献活動に関する調査」(平成24年度実施予定) 準備

(2) 第1回社会調査結果の検討・研究

(3) 情報・資料収集

#### 2. 普及啓発事業

公益目的事業(庭野平和賞の事業と助成事業)の成果を、宗教組織および市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催により普及啓発する。そのことにより宗教組織および市民組織の人材の育成、専門知識の取得および組織の活動の充実を目指す。

(1) GNHと地元学に関する現地学習、シンポジウム

##### 1) 水俣スタディツアー

① テーマ: 「GNHと地元学」をめぐって

② 開催日: 平成23年4月22日ー24日

③ 概要: GNH、水俣、地元学に関心のあるNGO/NPO関係者、宗教者、研究者、また、韓国からも数名参加予定。現地での関係団体訪問他、「水俣」をめぐり諸問題の中から「地元学」を立ち上げた吉本哲郎氏から直接、水俣の地域再生について学び、関西大学の草郷教授から「地元学とGNH」についてまとめの講義を頂く。さらには韓国の参加者から住民による地域社会の主体的発展手法についての経験を聞く。

##### 2) 第3回GNHシンポジウム開催

平成23年11月16日開催予定、基調講演者は立教大学教授で哲学者の内山節氏が内定。

テーマは未定、内容は基調講演、パネルディスカッション、質疑応答。

(2) 京都シンポジウム(一般公開)

① 日時: 平成23年5月21日

② 会場: 未定

④ 概要: 第28回庭野平和賞受賞者、スーラック・シバラクサ氏による基調講演後、受賞者、宗教者、学術経験者によるパネルディスカッション、質疑応答。

(3) 「東アジア平和フォーラム」評価事業及び報告会の開催

(4) 「現代世界の危機における宗教と宗教研究の役割」(NPFプログラムで継続助成ー2009年終了)の研究成果発表

(5) ウェブサイト、E-mail等を利用した情報公開

## II. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を通して、人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進に顕著な功績をあげた個人、または団体を表彰し、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

### 1. 庭野平和賞

#### (1) 第28回贈呈式・記念講演・レセプション

①受賞者：スーラック・シバラクサ氏

②期 日：平成23年5月19日（木）

③会 場：日本外国特派員協会

④式次第： 10:30 贈呈式・記念講演  
12:00 レセプション

⑤参加者：財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ他、約150名参加予定。

#### (2) 関連行事

平成23年5月18日 庭野平和賞執行委員会、指名委員会、名誉会長対談（東京）

19日 贈呈式（上記参照）

21日 京都シンポジウム（京都）

#### (3) 平成23年度の予定（第29回受賞者選定、第30回候補者受付及び審査他）

平成23年4月 第29回一般推薦による候補者第一次審査

平成23年5月 第29回一般推薦による候補者第二次審査

庭野平和賞執行委員会

平成23年6月 庭野平和賞委員会委員へ推薦書送付

平成23年8月 庭野平和賞委員会委員からの推薦締め切り

平成23年10月～ 庭野平和賞委員会にて第29回受賞者決定、調査、内示

11月

平成24年1月 第30回候補者一般推薦締め切り

2月 第29回受賞者公式発表

### 2. 庭野平和賞委員会

庭野平和賞選考のための上記日程による会議の開催。

## III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。

### 1. 公募助成—立正佼成会—食平和基金からの指定寄付による活動助成を公募により実施。

#### (1) 助成総額 10,000,000円

(前期) 募集期間 平成23年3月15日～4月30日（必着）

選考委員会 平成23年6月下旬

助成期間 平成23年8月から1年間

(後期) 募集期間 平成23年7月1日～8月13日（必着）

選考委員会 平成23年9月下旬

助成期間 平成23年11月から1年間

- (2) 公募助成小委員会  
石川治子委員長他 3 名

2. NPF プログラム－非公募による助成活動。 資料 1 参照

- (1) JANIC 人材育成 - 2009 年度助成対象者管理業務、事後学習会 2,000,000 円
- (2) 案件の発掘、調査、NPF プログラム助成小委員会による審査。  
(委員会に上程予定の案件)
  - ① 九条アジア宗教者会議 (申請金額 1,500,000 円) - 申請書受領
  - ② 東アジア低炭素地域づくり青年ワークショップ (申請金額 960,000 円) - 審議中
  - ③ 日韓宗教者フォーラム－韓日都市宗教施設緑化プログラム (3,000,000 円)
  - ④ 路上生活者支援プログラム (1,000,000 円)
  - ⑤ 明るい社会づくり運動人材育成プログラム (1,000,000 円)

3. 南アジアプログラム－立正佼成会一食平和基金からの指定寄付によって実施する事業。

- (1) 庭野平和財団南アジアプログラム
- (2) プログラム評価事業－評価委員会の立ち上げ

[法人運営部門]

総務

- (1) 法務に関する業務
  - 1) 主務官庁との連絡、交渉及び登記事務他
- (2) 会議に関する業務
  - 1) 理事会、評議員会、諸会議の運営及び記録他
- (3) 監査に関する業務
- (4) 文書管理に関する業務
  - 1) 各種文書の作成、提出、管理及び保管他
- (5) 人事及び福利厚生に関する業務
  - 1) 勤怠管理、安全衛生及び福利厚生他
- (6) 庶務に関する業務
  - 1) 什器備品、不動産、印刷物、公印等の管理他
  - 2) その他どの部門にも属さない事項の処理他

財務

- (1) 資産運用及び管理に関する業務
- (2) 経理、会計、記帳計算に関する業務